

第 1 期中期目標	第 2 期中期目標 (案)
<p>前文</p> <p>明石市立市民病院は、戦後間もない昭和 25 年、9 診療科と 124 病床で開設し、以来 60 年の長きにわたり、日夜、市民の健康な生活を支え続け、現在では 18 診療科と 398 病床を有する、高度で良質な医療を提供する地域の総合病院として発展を遂げてきた。</p> <p>医療を取り巻く環境がめまぐるしく、また大きく変化するなかで、市民病院は、市民に支えられながら、その時代のニーズに対応した診療を提供し、地域医療を支え、守り続けてきたところである。</p> <p>近年、高齢化の進展や食生活の変化などにより、がんや脳卒中、心疾患などの生活習慣病が増加しており、こうした疾病構造の大きな変化とともに、患者の医療ニーズも高度化・多様化している。そのため、地域の医療機関には、相互の医療機能を活かした役割分担と連携を図り、質の高い医療を効果的、効率的に提供していくことが求められている。</p> <p>一方で、医療保険制度や医療提供体制の改革が進められるなかで、多くの公立病院が厳しい経営を余儀なくされ、市民病院も、医師不足による診療体制の縮小や医業収益の減少など喫緊の課題が山積し、大きな岐路に立たされている。</p> <p>こうした状況のもとで、市民病院が、医師の確保や診療体制の充実を図り、市の施策として求められる救急医療や小児医療といった政策医療や高度で総合的な医療を継続的に提供していくためには、収支構造を改善し、経営基盤を安定させることが必要不可欠となっている。</p> <p>そのため、将来にわたって果たすべき役割を全うし、市民の健康を支えていくうえでふさわしい経営形態として、これまでの地方公営企業法が一</p>	<p>前文</p> <p>地方独立行政法人明石市立市民病院は、平成 23 年 10 月 1 日の法人設立以降、「患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える」という変わらぬ基本理念のもと、市民のための病院として地域医療を支え守り続けている。</p> <p>第 1 期中期目標期間において、地域医療支援病院の承認を受け、地域の中核病院として地域医療への貢献、救急体制の強化を図るなど、市民に対して提供する医療機能の充実や質の向上について一定の役割を果たしてきた。</p> <p>しかしながら、医療を取り巻く環境が厳しいなか、業務運営の効率化に向けた取組に遅れが生じ、結果として安定した経営基盤の確立に至っていないなど経営面での課題が残っている。</p> <p>団塊の世代がすべて 75 歳以上となる 2025 年に向けて、高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービス提供体制を一体的に確保する地域包括ケアシステムの構築が急がれるなか、地域の実情を踏まえた病床機能の再編が喫緊の課題となっている。</p> <p>このような社会情勢のなか、市民のための病院として、引き続き高度な総合的医療の提供や医療の質の向上に努めるとともに、地域医療支援病院として地域包括ケアシステムにおいて医療面の中核を担うなど、市民病院として果たすべき役割を積極的に推進することを求める。</p> <p>また、その役割を将来にわたって持続可能とするために、職員が一丸となって、構造改革の推進や安定した経営基盤の確立を実現することが不可欠である。</p>

部適用される地方公共団体の枠組みを離れ、「地方独立行政法人、明石市立市民病院として歩みを新たにするものである。

地方独立行政法人は、その特色として、速やかな意思決定による自律的かつ弾力的な経営が可能となることから、医師の確保はもとより、医療制度改革や診療報酬改定、地域の医療ニーズの変化など病院事業が直面している様々な課題に迅速かつ柔軟に対応するための、有効な経営形態である。

市民病院にとって、明石市から独立し、運営を理事長はじめ法人役員に委ねるといふ地方独立行政法人化は、不退転の決意をもって取り組む、病院開設以来の改革である。しかしながら、経営形態は変わろうとも、市民とともに歩んできた60年の月日は今後も市民病院の礎であり続けるとともに、「患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える」という基本理念は何ら変わるものではなく、病院のあるべき姿としてその方向性を見失ってはいけない。

病院改革の道のりは険しく、さらなる努力が求められているが、地方独立行政法人の特長を最大限に活かしながら、医療の質の向上と患者サービスの充実を図るとともに、経営の健全化に取り組み、自治体病院としての再生を果たしてほしい。そして明石市もまた、市民病院が地方独立行政法人化後も公的使命をしっかりと果たしていけるよう、設立団体として必要な支援を行っていくものである。

新たな改革の一步を踏み出す市民病院が、患者や市民、地域の医療機関から信頼される病院として、全力で地域医療を支え守り続けることを強く求め、ここに、第1期中期目標を定める。

患者や市民、地域の医療機関から信頼される病院として、社会状況の変化に合わせて環境に適時対応できる迅速性、柔軟性のある経営のもと、全力で地域医療を支え守り続けることを強く期待して、第2期中期目標を定める。